

NEWSLETTER

発行/芝浦工業大学 DE&I推進室 Diversity Equity and Inclusion Promotion Office, SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

Shiba-jo プラチナネットワーク

代表挨拶



芝浦工業大学大学院博士課程
機能制御システム専攻
2021年修了
代表 金丸 真奈美

Shiba-jo プラチナネットワークは2014年に芝浦工業大学に関わる女性同士がつながり、互いに支援することを目的として設立されました。私は2022年度からShiba-jo プラチナネットワークの代表を務めさせていただいております。

今年度は昨年度に続き、卒業生と在学生の交流の場として座談会を開催しました。卒業生、在学生共に昨年度よりも多くの方に参加していただくことが叶いました。また、女性教職員や在学女子学生、卒業生のオンラインでの交流の場として、Discord サーバーも開設いたしました。キャリア形成やワークライフバランスについて情報共有する一助となりましたら幸いです。ぜひShiba-jo プラチナネットワークを通じて、異なる世代の女性たちと交流し、自身のキャリアやプライベートについて考え、相談する場として活用いただければ幸いです。



2023年10月14日 女子学生と卒業生の座談会報告



10月14日(土) 14時から豊洲キャンパスの阿出川シアターと本部棟の4階にある学生ラウンジで女子学生と卒業生の座談会を開催しました。卒業生6名、在学生8名が参加しました。はじめに各自の自己紹介をしていただき、在学生と卒業生の交流を目的として3つのグループに分かれてお話ししてもらいました。グループメンバーの入れ替えも2回行い、在学生が全ての卒業生と話す機会を設けました。普段卒業生からなかなかお話を聞く機会がないので、専攻ごとの就職経験、実際の職場環境や自分の専攻以外の分野についてのお話で盛り上がりました。在学生が今やるべきことについてもアドバイスをいただきました。参加した在学生からは高い評価をいただきました。また、より少人数のグループで密にお話ししたいのご意見もいただきましたので、来年度の座談会に生かしていきたいと思っております。(幹事・張潤青)

Shiba-jo プラチナネットワーク懇親会が2023年10月14日(土) 15時45分より豊洲キャンパス本部棟2301室にてオンライン併用で開催されました。19名(Zoom参加4名を含む)が参加しました。最初に磐田朋子副学長より開会のあいさつがあり、その後、金丸真奈美代表から、これまでの活動報告のお話がありました。その後、参加者全員の自己紹介と近況報告が行われました。今回は、3名の子供も一緒に参加し、和やかな雰囲気懇親会を進めることが出来ました。夕方からは、豊洲キャンパス本部棟1階にあるシシリアに移動し、子供3名を含む19名で、食事会を行いました。女性が働く際、普段の生活の中で気を付けていることなど、皆さんが疑問に思っていることを様々な視点でお話しすることが出来、働いている女性のみならず、女子学生さんにとっても、今後のキャリアプランを構築するためのいい機会になったようでした。また、今後もイベントに参加したいとの前向きなコメントをいただきました。(幹事・宮田純子)

2023年10月14日 Shiba-jo 懇親会報告



芝浦工業大学の女子学生、女性卒業生・教職員の皆様

会費無料

Shiba-jo プラチナネットワーク会員 絶賛募集中!

女子の友達を
増やしたい

面白そうな
イベントがあれば
参加したい

こんな時他の教職員は
どうしているのか
聞いてみたい

芝浦女子の「やってみたい」「聞きたい」「つながりたい」など様々な想いにこたえます。あなたもShiba-jo プラチナネットワークの会員になって芝浦女子を盛り上げていきましょう。

お申込みはこちら

<https://forms.office.com/r/tgx2ehDgXB>



Shiba-joプラチナネットワークとは
URL: <https://bit.ly/3Sszqybr>



DE&I推進室長挨拶



芝浦工業大学 副学長
DE&I推進室 室長
磐田 朋子

「男女共同参画推進からDE & I推進へ」

本学は創立以来の建学の精神のもと、「世界に学び、世界に貢献するグローバル理工系人材の育成」を教育の理念とした人材育成を行っています。パンデミックや気候変動、戦争など社会の先行きが不安定になる中、公正で平和な持続可能な社会の実現を目指し、国際社会に貢献する人材を育成することは本学の使命であると考えています。この理念に基づき、社会を構成する多様なメンバーがそれぞれ尊重され、力を発揮し、イノベーションをもたらす大学となることを目指して、様々な取り組みを行ってきました。

2014年に14%に満たなかった本学の女子学生比率は、2018年度から他大学に先駆けて導入した理工系女子特別入試や女子入学生奨学金制度の導入などの取り組みにより、2023年には20%に達しようとしています。芝浦工業大学100周年に向けて掲げた女子学生比率30%に向けて今後も取り組みを進めます。

また、2014年に私立大学初となる文部科学省スーパーグローバル大学にも採択された本学では、留学生や国際交流を行う学生数が急増しています。採択前と比べて海外への学生派遣数は4.8倍に、留学生の受入れ人数も10.7倍に増加しました(コロナ禍前となる2019年度データに基づく)。国際学生が本学において十分に力を発揮し、日本人学生との国際交流に喜びを見出すことができる環境を整える取り組みも進めています。

このように、男女共同参画推進のみならず、広範囲に及ぶ多様性を組織に取り込むことを啓蒙し学外に発信するため、2023年10月1日に、男女共同参画推進室は、DE&I (Diversity Equity & Inclusion) 推進室に名称を変更しました。ジェンダーや人種、国籍、思想、信条、障がい等に関わらず、多様な個性が輝き、誰もが安心して学び、働ける教育・研究・職場環境の確立を目指す所存です。

芝浦工業大学 DE&I (ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョン) 推進宣言

令和5年10月1日

芝浦工業大学は、創立以来の建学の精神のもと、世界に学び、世界に貢献するグローバル理工系人材の育成に資する環境を全ての構成員に提供するために、多様性、公正性、包摂性 (Diversity, Equity & Inclusion: DE&I) の保障を軸とする意識啓発や制度整備を促進することをここに宣言します。

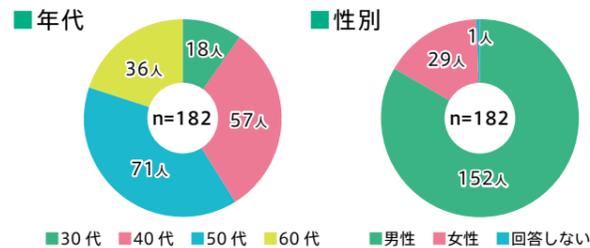
- 【芝浦工業大学 SDGs 宣言 (第4条)】芝浦工業大学は、ジェンダーや人種、国籍、思想、信条、障がい等に関わらず、多様な個性が輝き、誰もが安心して学び、働ける教育・研究・職場環境を確立します。
- 【多様性の保障】芝浦工業大学は、知の創造の根源である多様性をすべての学生・教職員が尊重し、互いに受容するための啓発活動を実施し、意識改革を行います。
- 【公正性の保障】芝浦工業大学は、すべての学生・教職員が個々の能力を最大限発揮できる公正性が保障された差別のない環境を提供し、誰もが活き活きと活躍できる大学をめざします。
- 【包摂性の保障】芝浦工業大学は、多様性と公正性の保障をすべての学生・教職員が歓迎し、高い受容意識をもつ包摂性に富んだ組織づくりを推進します。

「2022年度 大学教員のワーク・ライフ・バランスに関するアンケート」実施

本学では、教員の意識・ニーズを把握し、より働きやすい職場環境を実現するため、2022年11月、専任教員277名を対象に「大学教員のワーク・ライフ・バランスに関するアンケート」をWEBフォームで実施しました。専任教員の66.4%、182名から回答が得られました。

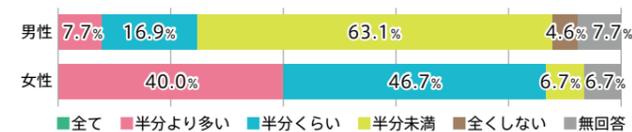
アンケート結果 (抜粋)

回答者の属性

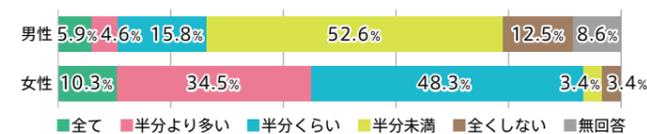


あなたはどのくらい子育てに関与していますか

高校生以下の子どもを持つ80名(男性65名、女性15名)の回答

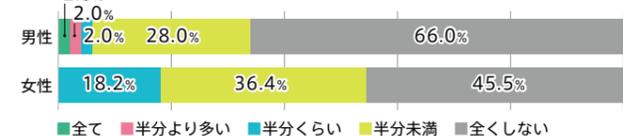


あなたはどのくらい家事に関与していますか。



あなたはどのくらい介護に関与していますか。

介護を必要とする身内がいる61名(男性50名、女性11名)の回答



自由記述 主なものをご紹介します

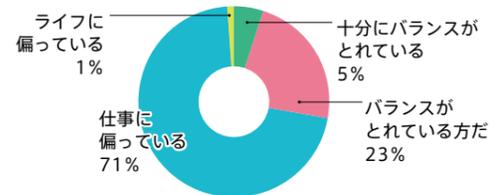
- 祝日や休日に勤務する場合、ベビーシッターの利用補助など検討してほしい。
- 夕方以降の会議を極力減らしてほしい。
- 相談窓口・サポート内容の詳細も周知するなどの積極的な情報共有が必要。
- 現在子育て中の教員の意見を聞く機関を作ってはどうか?
- 育児休業の取得者の前例を紹介してほしい。休業中に研究室の運営や担当講義をどのようにしたのかが分かれば取得しやすくなる。
- 事務作業効率化のための体制づくりと作業自動化のためのシステム導入ができれば、将来的な人件費削減にもつながるかと思う。このような体制を教職協働で作っていかねばならないと思う。

ワークライフバランスについて

睡眠時間を除いたおおよその時間配分について伺います。「仕事」「家事」「余暇」「その他」の合計を10とした時の割合をそれぞれ選んでください。



あなたのワークライフバランスを自己評価すると?



本法人の以下の「制度」や「相談可能な機関」について、知っている割合



まとめ

- 女性教員に比べて男性教員は、子育て/家事/介護に関与できていないことが明らかになりました。
- ワーク・ライフ・バランスの自己評価において、性別を問わず仕事に偏っているという認識が強い傾向にありました。
- ライフイベント時に利用できる各種制度についての認知度が低いことが明らかになりました。制度の充実に加え、周知方法の見直しが必要です。
- 夕方以降の会議や祝日授業・イベントの負担が大きいことがわかりました。→本調査結果を受けて、2023年度は夕方以降の会議が大幅に減りました。
- 保育に関するニーズが多く寄せられました。→ベビーシッター利用補助制度が2023年度に実現いたしました。

アンケート結果をもとに、一人ひとりが自身のライフイベントに安心してのぞめるよう、今後もサポート体制や環境の整備に取り組んでまいります。

主な活動報告

▶ 2023.12.13 「芝浦工業大学とSWCC株式会社の包括連携協定締結」



2022年3月に理工学分野の学部を卒業した女性は23% (令和4年度学校基本調査) であり、経済協力開発機構 (OECD) が2019年に実施した調査によると、工学、製造、建築を専攻する者のうち女性が占める割合は16%で、加盟国36か国中で日本が最も低い結果となっています。上述した課題がある中で、芝浦工業大学は2013年から女性教員増員と女子学生比率向上に取り組んでおり、SWCC株式会社も2021年度から女性活躍推進プロジェクトを開始し、女性管理職の増加を目指しています。

両組織は、共に女性エンジニアの育成と知識やノウハウなどの情報共有を通じて、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DE&I) を推進すべく、2023年12月13日に包括連携協定を締結しました。具体的には、「人及び知の交流、情報の交流に関すること」、「多様な文化・教育及び人材育成に関すること」、「女子学生・女性研究者へのキャリア支援に関すること」に共同で取り組んでいきます。

2024年5月21日に芝浦工業大学豊洲キャンパスにて、「Cultural Kaleidoscope: 多彩な文化が織りなす企業の未来」をテーマに東京大学生産技術研究所特任准教授でありアーティストでもあるスツニ子!さんをゲストとして、講演会の共同開催を予定しています。



左から山田学長、SWCC 長谷川社長、盛田室長

▶ 2023.12.10 『KIKKAKE きっかけ 2023 ~ガールズプログラミングフェス~』



2023年12月10日(日)に、DE&I推進室共催で女子向けプログラミングイベント『KIKKAKE きっかけ 2023 ~ガールズプログラミングフェス~』が豊洲キャンパスで開催されました。磐田室長のオープニングセッションから始まり、各社のプログラミングスクールが開催される中、「教えて先輩 今どきの理系女子はこんな感じ」と銘打ったセッションに本学の女子学生が参加しました。学生は子供たちに声掛けをして、一緒にブロックを組み立てたり、ご父母からの質問に答えるなど、イベントを盛り上げました。参加者は小学生から中学生で約80名、ご父母を含めると200名となり、終始笑顔の見られるイベントとなりました。



ブロック組み立てのお手伝いの様子

▶ 2023.7/8 オープンキャンパスでのポスター掲示

芝浦工業大学を目指す女子生徒に向けて、工業大学での女子学生の生活をイメージし進学への不安を少しでも払拭できるよう、現役女子学生からアドバイス。豊洲、大宮それぞれのキャンパスの雰囲気やおすすめスポット、サークルや部活のこと、受験生へのメッセージなど、学生の生の声をアンケートで集めてポスターを作成し、オープンキャンパスで掲示しました。



▶ 2023.11.1 「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」リーダーミーティング参加

11月1日(水)に開催された第11回「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」リーダーミーティングに幹見理事長と磐田室長が参加しました。

https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders/meeting/meeting11.html

